

和風と洋風で仕上げた 平屋づくりの二世帯住宅



キッチン上部をロフトにした開放感あふれる LDK。



屋根付きの縁側は庭を眺めて過ごせる特等席。



デッキを敷いた中庭はセカンドリビングとしても使える。



勾配屋根と黒のガルバリウム外壁で和を表現した外観。

和と洋、全く印象の異なる二つの住空間をゆるやかにつないでいるのが、中心に位置する中庭です。ここにウッドデッキを敷いて設けたガーデンルームでは、外からの目を気にせずに心地よく過ごすことができます。家族や友人と楽しくふれあえる場所であるだけではなく、この空間があることで、両世帯は絶妙な距離感を保つことができているといえるでしょう。

二つの世帯の住まいは意匠デザインこそ違いますが、暖かい家であることに変わりはありません。在来工法のモノコック構造のため地震や強風に強く、ダブル断熱施工で断熱・気密性もすぐれ、家全体が暖かです。開口部にはトリプルガラスを、換気システムは第1種換気を採用。屋根には太陽光発電システムを搭載し、光熱費を安く抑えています。

リビングの外には、18帖ほどの縁側を屋根付きで設けました。リビングと外空間のクッションになつており、外との一体感を楽しめるテラスとしても利用できます。その後、村上さんはお母さんと二世帯で暮らすため、自身の家族6人の居住スペースを増築。こちらはガラリと雰囲気を変え、洋風に仕立てました。吹き抜けになつた17帖のLDK、主寝室、2室続きの子供室、浴室、サニタリーというレイアウトです。内装も、白をベースカラーに、スタイルリッシュな空間に仕上げています。

そこでプランニングでは、この庭を心ゆくまで眺められる、ほぼ全面開口のLDKを中心に、寝室、浴室、サニタリーを平屋にレイアウトしました。住むのはお母さんと村上さんの弟さんの二人。部屋数を絞り込みながら、それぞれの空間はゆったり広く造りました。33帖のLDKは、平面的に広いだけでなく、吹き抜け天井で高さも強調した、開放感いっぱいの空間です。また、寝室の近くに配置したトイレスペースは坪庭付きで3帖と広く、車椅子でも出入りができます。

室内は木の素材感があふれた内装となっており、木を多用しながらシンプルで現代的。リビングの仏壇コーナーが目立たない

つがる市車力町は日本海に面し、積雪量はさほど多くないものの、風が強い土地柄です。冬は寒さが厳しく、村上さんのお母さんは耐えかねていたようで、それが旧宅を建て替える切っ掛けになりました。

お母さんがリクエストしたのは、「暖かい家であること」と「庭を活かした、和風づくりであること」でした。お母さんお気に入りの庭は村上さんの御祖父さんが手造りしたもので、四季を通じて風情ある景色を見てくれる、村上家自慢の庭でもあります。

お母さんがリクエストしたのは、「暖かい家であること」と「庭を活かした、和風づくりであること」でした。お母さんお気に入りの庭は村上さんの御祖父さんが手造りしたもので、四季を通じて風情ある景色を見てくれる、村上家自慢の庭でもあります。

(株)村上工務店

つがる市 村上さん宅

◎工法 新在来工法
◎暖房 オール電化
(床下冷暖房エアコン)
◎着工 2018年4月
◎完成 2018年10月
◎家族構成 8人



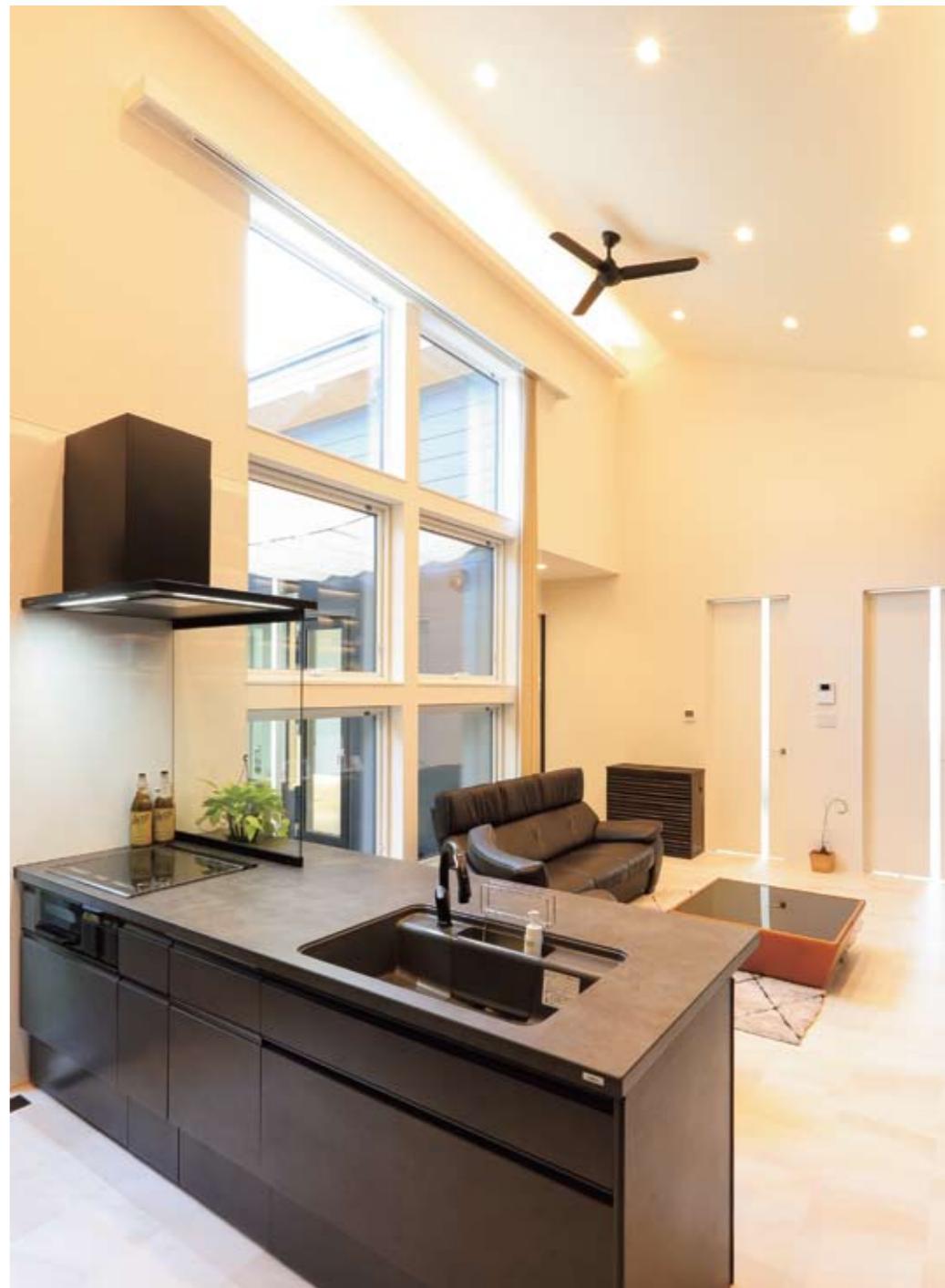
LED 照明を仕込んだ造作の飾り棚が壁面を彩るリビング。



将来 2 室に仕切って使える子供室。



森林浴気分を味わえる浴室から中庭が見える。



リビングに溶け込むインテリアのようなキッチン。

HOUSING in AOMORI

(株)村上工務店

〒 038-3303

つがる市車力町乗鞍 10

電話 / 0173-56-2620

携帯 / 090-6221-4397

FAX / 0173-56-4236

メール / murakou@cpst.plala.or.jp

既存部分	125.04m ²	37.89 坪
増築部分	112.59m ²	34.11 坪
合計	237.63m ²	63.52 坪

